

デジタル市場における データ集中と競争政策

入場
無料

日時：2019年12月12日（木）13:30～16:35（受付開始13:00）

会場：一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋2-1-2 学術総合センター2階）

主催：公正取引委員会 競争政策研究センター

データが事業活動にとって貴重な資源となり、その重要性が高まっている中で、デジタルプラットフォームによる単独のデータの収集はもとより、M&Aや業務提携等を通じたデータの集中による独占禁止法・競争政策上の懸念が生じています。

このような背景を踏まえて、近年、日欧米を中心としてデータの集中に係る競争法・競争政策上の対応について積極的に検討されているところ、我が国におけるデータの集中に対する独占禁止法の運用に示唆を得ることを目的として、欧米の有識者を招いた国際シンポジウムを開催します。

■ 議事次第 ■（日英同時通訳あり）

総合司会：岡田 羊祐 競争政策研究センター所長

13:30～13:35 開会の辞

杉本 和行 公正取引委員会委員長

13:35～15:20 第1部 基調講演

ヨーロッパやアメリカの政府機関でチーフエコノミスト等を務めた経験を持つ経済学者が、デジタル市場におけるデータ集中に対する規制や競争政策の在り方についての講演を行う。

講演者：Jacques Crémer フランス・トゥールーズ第1大学経済学部教授

Tommaso Valletti イギリス・インペリアルカレッジ・ロンドン経済学部教授

Leslie Marx アメリカ・デューク大学経済学部教授

15:35～16:30 第2部 パネルディスカッション等

15:35～15:50 公正取引委員会の最近の取組の報告

公正取引委員会の担当者が、デジタル市場に係る企業結合ガイドライン等の見直しについて報告する。

報告者：深町 正徳 公正取引委員会事務局経済取引局企業結合課長

15:50～16:30 パネルディスカッション

モデレーター：大橋 弘 競争政策研究センター主任研究官

パネリスト：青木 玲子 公正取引委員会委員

Jacques Crémer フランス・トゥールーズ第1大学経済学部教授

Tommaso Valletti イギリス・インペリアルカレッジ・ロンドン経済学部教授

Leslie Marx アメリカ・デューク大学経済学部教授

16:30～16:35 閉会の辞

岡田 羊祐 競争政策研究センター所長

参加お申込み▶令和元年12月6日（金）までに以下のURLからお申込みください。

https://www.jftc.go.jp/kosyukai4/form/apply_infos/apply

お問い合わせ▶公正取引委員会競争政策研究センター事務局

Tel：03-3581-1848 E-mail：cprcsec@jftc.go.jp

※お申込みの際に御記入いただいた個人情報は、公正取引委員会競争政策研究センターが本シンポジウムの運営のために利用するものであり、それ以外の目的には使用しません。



■第1部講演者紹介■



Jacques Crémer フランス・トゥールーズ第1大学経済学部教授

マサチューセッツ工科大学において経済学の博士号を取得。1991年からトゥールーズ第1大学経済学部教授を務めている。現在は、同校のデジタルセンターのサイエンティフィック・ディレクター（Scientific Director）の他、計量経済学会及びヨーロッパ経済学会（European Economic Association）のフェローも務め、過去にはこれらの学会の評議会のメンバーも務めた経験を持つ。また、ペンシルバニア大学やバージニア工科大学で教鞭を執った経験に加え、2018年4月～2019年3月まで、欧州委員会のヴェステアー委員（競争政策担当）のスペシャルアドバイザーを務め、2019年4月に公表されたデジタル時代の競争政策についての報告書“Competition Policy for the Digital Era”の共著者である。これまで、計画理論、オークション、インセンティブ理論、組織経済学及びデジタル経済における基礎研究を行っている。

Tommaso Valletti イギリス・インペリアルカレッジ・ロンドン経済学部教授

トリノ工科大学においてエンジニアリングの“a magna cum laude degree”，ロンドンスクール・オブ・エコノミクスにおいて経済学の修士号及び博士号を取得。現在は、インペリアルカレッジ・ロンドン経済学部教授の他、経済政策研究センター（CEPR）フェローも務める。また、ロンドンスクール・オブ・エコノミクス、パリテック（ParisTech）及びトリノ工科大学で教鞭を執った経験に加え、2016年9月～2019年8月の間、欧州委員会競争総局のチーフエコノミストとして、多くの大規模な企業結合事例や反トラスト事例の分析を主導した経験を持つ。

主な研究分野は、産業組織論、規制及び競争の経済学であり、American Economic Review, Economic Journal, Journal of the European Economic Association等の著名なジャーナルにおいて、多数の論文等を公表している。

Leslie Marx アメリカ・デューク大学経済学部教授

デューク大学において数学の理学士号，ノースウェスタン大学において経済学の修士号及び博士号を取得。現在は、デューク大学経済学部Robert A. Bandeen教授の他，American Economic Journalにおける“Microeconomics”の共編者や“International Journal of Game Theory”の編集委員を務めている。また，過去には，アメリカ連邦通信委員会（FCC）のチーフエコノミストを務めるとともに，2012年にMIT Pressが発行した“The Economics of Collusion: Cartels and Bidding Rings”の共著者でもある。

これまで，共謀，談合及び反競争的契約条項等の反競争的行為に着目した様々な論文等を公表している。

なお，学術以外には，アメリカのフェンシングチームの一員として，1996年アトランタオリンピックに参加した経験を持つ。